

中高一貫教育だより

令和4年1月25日（火） 第3号発行

今年度の交流授業も11月で終了しました。また、12月には理科の出前授業を実施しました。今回は英語の交流授業と理科の出前授業の様子をお伝えします。

<英語の交流授業>

中学3年生を対象とした英語の交流授業全14回が終了しました。11月8日（月）～11日（木）の4日間は、1日1コマずつ軽米高校の富樫奈津子先生と野田真子先生が担当で集中講義を実施しました。内容は昨年同様ディベート活動で、主な活動は次の通りです。



8日（月）	高校1年生のディベートの様子を動画で見せる。／動画とスクリプトを使ってディベートの方法を解説する。／キーフレーズの使い方を練習する。／ロールプレイで練習する。
9日（火）	前回の復習をする。／練習用のトピックで賛成と反対の理由を考える。／日本語の理由を英語にする。／本番用のトピックについて賛成と反対の理由を日本語で考える。
10日（水）	前回考えた日本語の理由を英語にする。／英文を紙に書いて黒板に貼りALTが添削をする。／英文をクラス内でシェアする。／英文の音読練習をする。
11日（木）	前回作った英文の意味を再確認し、音読の練習をする。／ディベートの型に沿って、キーフレーズと理由を組み合わせて練習する。／ピンポンディベートをする。

【集中講義を受けた中学生の事後アンケートの集計結果より】

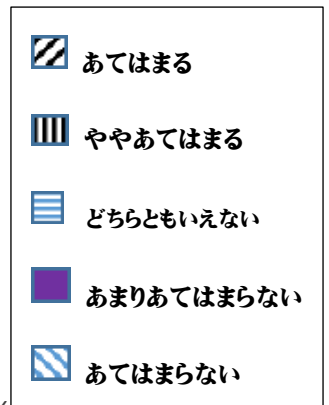
質問1：ディベートの授業に関心を持って参加することができた。



質問2：中学校で学んだ英語を、今後どのように活用していくかについて考えたり気付いたりできた。



質問3：集中授業を受けて良かった。



以下は、生徒の感想の一部です。

教え方が分かりやすかったし、どのようにディベートを進めるかもよく分かった。班・クラスの間など交流して英語を話す力・読む力が伸びたと思う。自分の考えをしっかりと英語の文章で書くことができてよかった。（3A）

自分で考えたことを英語にする作業はあまりしてこなかったので、班の人とやれて楽しかった。いろんな人の文も見ることができてよい刺激になった。英検3級の作文の時に役に立って、すごい楽に書くことができた。ありがとうございました。（3A）



自分たちで英文を作るのは難しかったけど、楽しかった。ライティング活動で単語をしっかり覚えられたし書けるようになった。(3B)

難しい単語もあって読めるか不安だったけど、毎授業確認の時間があって分かりやすかった。ライティングはわからないところを書いて教えてもらって理解が深まりました。(3B)

やる前は難しいかなと思ったけど、習った単語や文法だけでもできることが分かった。英検3級の作文に生かせたので良かった。(3B)

<担当者(富樫奈津子先生)からのコメント>

ライティングもディベートも英語で自分の考えを伝える活動です。集中講義が始まるまでの期間にライティングの練習に繰り返し取り組んできた成果が、ディベートで発揮されていたと思います。

これからも英語の学習に前向きに取り組んでくれたらとてもうれしいです。

<理科の出前授業>

12月8日(水) 中学2年生を対象に「豚の目の解剖実験」を行いました。昨年に引き続き、軽米高校からは鈴木麗先生が中学校を訪問し実験をしました。次の日以降にも、豚の眼球の話題が出てくるほど、生徒たちにとって印象深い体験となったようです。生徒の感想の一部を紹介します。



黒目の部分は本当は透明で、網膜が黒いから黒く見えることがおもしろかった。遠くを見たり、近くを見たりするときに、水晶体の厚さが変わるところがすごかった。(2A)

中が黒くなっていると知ってびっくりした。「望遠鏡の中を黒くすると見やすい」というけど、それと一緒になのかと思った。(2A)

暗いところでは光をとらえるために瞳孔を広くすることがわかりました。(2A)

目の中はほとんどが透明で驚いた。イラストで見るだけでなく、実際に解剖してみると、とても作りがわかりやすいなと思った。(2B)

目は脳に伝わりやすいように視神経が中心にないのに驚きました。左目は右脳に、右目は左脳に行くのが不思議で面白いと思いました。水晶体がとてもきれいでびっくりしました。(2B)

目を半分に切るとき、思ったより周りがたたくて切るのが大変でした。切った中から透明なドロドロしたものがあって、それを真ん中に集めて裏側を見ると視神経という部分があることを知りました。目の中のレンズが大きさをかえていることなどがわかりました。(2B)

<担当者(鈴木麗先生)からのコメント>

他の中学校ではできない経験を提供したいと考え、豚の眼球の解剖を毎年実施しています。これができるのは中高が連携している軽米だからなのだと知っていただけたら幸いです。最初は抵抗感があつた人も多いと思いますが、とりあえずやってみる中で徐々に慣れていったのではないのでしょうか。何事もやってみることが大事。「百聞は一見に如かず」です。本物に触れる経験からの学びを大切にしてほしいです。

